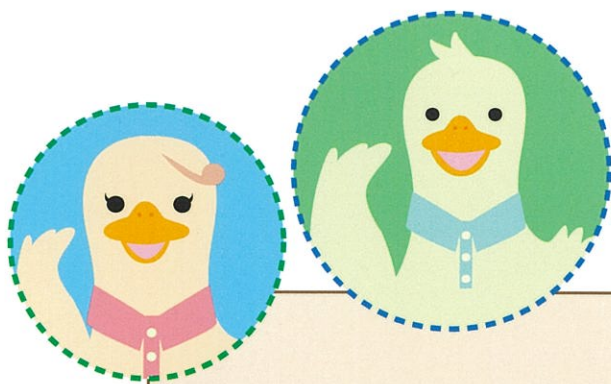


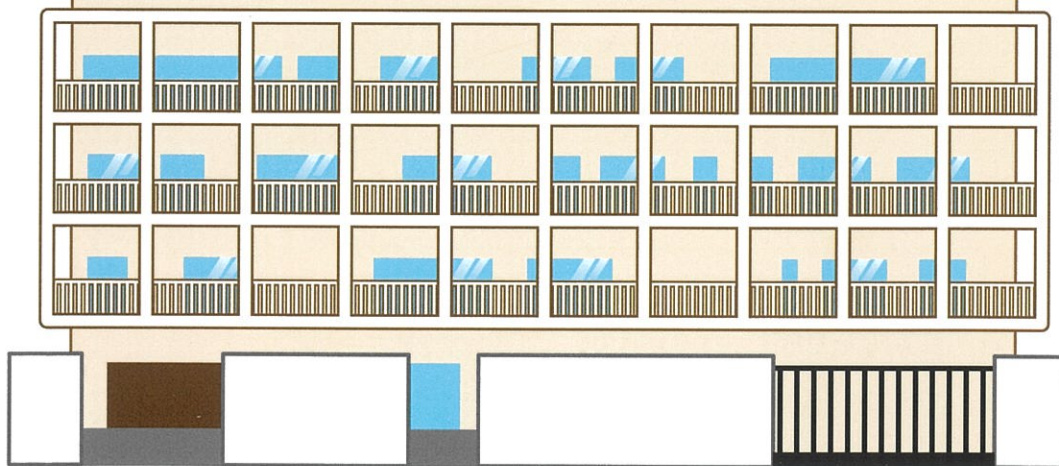
# 西宮市立 こども未来センター

施設ガイド



わたしたちはこども自身の  
自分らしい豊かな人生を  
実現するための支援をめざします

西宮市立こども未来センター



西宮市 こども支援局 こども未来部  
診療事業課 / 発達支援課 / 地域・学校支援課



# こども未来センターへようこそ

- 西宮市立こども未来センターへようこそ。
- こども未来センターは「こども自身の自分らしい豊かな人生の実現」のための支援を行うことを目的として福祉・教育・医療が連携し、切れ目のない支援を行うために開設されました。



玄関・総合受付

## 基本理念

### <基本理念>

わたしたちは  
こども自身の  
自分らしい豊かな人生を  
実現するための  
支援をめざします

この基本理念は  
こども未来センターの玄関脇に  
掲げられています

### こども未来センターが考える 「自分らしい豊かな人生」とは…

- **自分の人生の主人公として生きること**  
「自立」というのは、自分の人生の主人公として生きていくことをいいます。  
自分で考え、決めて、自分らしく生きていくことをめざします。
- **社会の中で生きがいをもって暮らすこと**  
自分らしさを生かしながら、社会の中で安心して過ごせる場所や仲間、生きがいをもって、暮らしていくことをめざします。
- **学んだことを生かして自分の世界を広げること**  
人は生涯にわたって学ぶ存在です。学ぶことを通して、いろいろな考え方を知り、自分の世界をより豊かな充実したものにしていくことをめざします。

## 開館日・時間

- 月曜日～金曜日 9:00～19:00
- 土曜日(相談のみ) 9:00～17:00

※ 診療・リハビリは、

- 月曜日～金曜日 9:00～17:30  
ただし、月曜日はリハビリのみ19:00まで

- ※ 日曜日・祝休日・年末年始(12月29日～1月3日)は休館です。
- ※ 来館時は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ※ 駐車場の台数には限りがありますので、身体の不自由な方、車椅子をご利用の方への優先利用にご協力をお願いします。

## 問い合わせ

子供・保護者 からのご相談は → ☎0798-65-1881 (月曜日～土曜日)

学校・関係機関 等からのご相談は → ☎0798-65-1882 (月曜日～金曜日)

診療・リハビリ については → ☎0798-65-1927 (月曜日～金曜日)

※リハビリ予約については(リハビリ予約センター)… ☎0798-65-1928 (月曜日～金曜日/9:00～17:00)

その他のお問合せは…

- TEL 0798-65-1936
- FAX 0798-64-5103
- e-mail vo\_wakaba@nishi.or.jp
- ホームページ <https://www.nishi.or.jp/kosodate/kodomomiraicenter/index.html>

こども未来センター 検索

## 気軽に使える サロン

- エントランスから入ってすぐに、総合受付を設け、施設全体の案内を行っています。
- 総合受付の後ろには、休憩や語らいに気軽に利用いただけるようにサロンを設けています(自動販売機もあり軽い飲食も可能です)。
- 各種講座の案内などの情報提供コーナー、授乳室、プレイエリアを設け、おもちゃや絵本なども備えています。

サロン(1階)





# 子供の育ちや発達の相談

こども未来センターのご利用はご相談から始まります。まずはお気軽にお電話ください。(0798-65-1881)



相談室

## こんなときは 気軽にご相談を

「友達とうまく遊べない」  
「学校に行きたくない」  
「勉強についていけない」  
「周りが気持ちをわかってくれない」

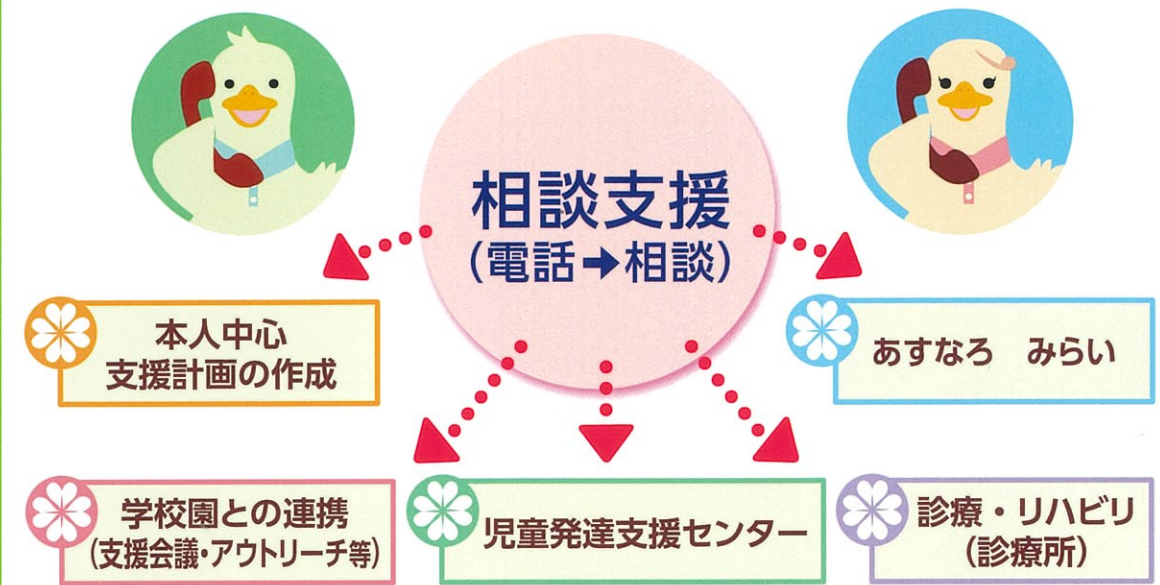


「子供の発達や育ちが心配」  
「親子関係がうまくいかない」  
「学習のつまずきが心配」  
「学校に行くのを渋っている」  
「障害がある子供の子育て」  
「福祉サービスの質問をしたい」



## 相談から 支援までの流れ

- 子供の育ちや発達、学校・幼稚園・保育所での生活などで生じる不安や心配について、相談に応じます。まずは電話で気軽にご相談ください (0798-65-1881)。
- 必要に応じて、相談員による面談を行います (予約制)。
- ご相談の内容によって継続した面談やセンター内の支援につなぐほか、学校園や関係機関との連携も行います。



- 電話相談を随時行っている他、予約制で来所相談も行っています。
- 3階には相談エリアを設置しており、安心してご相談いただけるよう大小の個室やプレイルームを用意しています。お子さんの年齢や目的に応じて使用しています。

相談室



## 本人中心支援計画 (計画相談)

- 障害福祉サービス等を利用する際に必要となる「本人中心支援計画<sup>\*</sup>
- <sup>\*</sup>西宮市における呼称。正式名称は「障害児支援利用計画・サービス等利用計画」
- 」の作成やモニタリングを行います。
- 計画の作成やモニタリングを通じて、本人や家族の現在の状況や希望などを整理し、課題や方針などについて支援関係者間での認識の共有を図ります。



# こども未来センター診療所

- 診療所では、子供の運動発達の遅れや、ことばの発達についての診療を行います（予約制）。
- 医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理療法士など多職種が連携し、様々な取組を行いながら、ともに発達の課題に向き合いながら支援していきます。



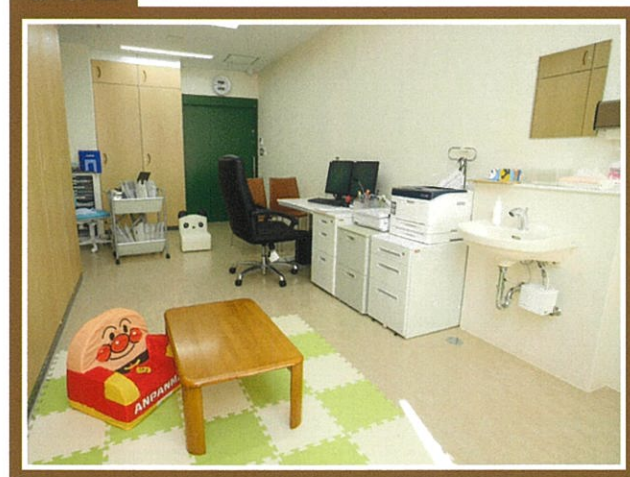
作業療法室4

## 診 察

診療科目：小児科、整形外科、児童精神科

- 診察では子供の身体面、精神面の発達状況を確認し、関わり方の助言などを行います。
- 診察の結果、必要に応じて医師が各種療法や検査の指示を行います。
- 診察を希望される場合は、医療機関、乳幼児健診の担当医師、所属学校園所のいずれかからの紹介が必要です。まずは相談部門にお電話でご相談をお願いします（0798-65-1881）。

診察室



## 理学療法 (PT)

- 個々の発達段階に合わせ、姿勢や運動の発達を支援します。
- 理学療法では、運動機能の改善だけでなく、日常生活の動作の改善や活動・参加に向け、より充実した生活が送れるよう支援します。

理学療法室



## 作業療法 (OT)

- さまざまな作業活動（遊び、学習、日常の活動など）を用いて、生体動作、運動、学習、人と交流する力の発達を支援します。
- 個別で行う作業療法のほかに、2～3人で行う小集団の作業療法も実施しています。

ADL室



## 言語聴覚療法 (ST)

- 個々の発達段階に応じた遊びを通して、コミュニケーションの力を身につけられるよう支援します。
- 摂食・嚥下機能を向上させることや、安全に効率よく食事ができることを目的に支援します。
- 個別療法のほかに、集団の中での友達とのかかわり方などを学ぶ、集団言語療法も行っています。

言語聴覚療法室



## 発達検査

- 子供の発達状況や特性を客観的に知るために発達検査を実施します。
- 診断の際に利用したり、今後の療育方針を立てる上でも役立っています。

発達検査室



## さくらルーム (一時預り)

- より集中しやすい環境でリハビリ・相談等を利用してもらうため、対象の子供の就学前のきょうだいの一時預かりを業務委託により行っています。

対 象 生後8か月以上の就学前児童  
費 用 1時間 300円

さくらルーム





# 親子がともに育つ「わかば園」

- 保育士などが、心身の発達に課題のある未就学児を対象に、通園療育（親子通園）を行います。
- 親子療育教室や体験保育も行っています。



保育室6

## キーワード "た・つ・ま・き"

### たのしむ

親子で一緒に遊んで、楽しさを共感しましょう

### つながる

いろいろな人と出会って、つながりを豊かにしていきましょう

### まなぶ

他の親子や先輩からもたくさん学びましょう

### きづく

子供の姿や移り変わりから、うれしい気づきを見つけましょう

## わかば園

- 2歳児から就学前の肢体不自由児、2歳児・3歳児の知的・発達障害児に対して、年齢や子供の状態に合わせた集団保育、食事指導、各種相談（育児相談、栄養相談、進路相談など）その他、近隣の保育所の子供との交流、季節ごとの行事なども行っています。
- わかば園では、子供の状態に合わせた療育を行うため、障害の種別及び年齢によって、クラス分けをしています。通園回数はクラスごとに異なりますが、行事の時は全クラスの園児が集まって行うほか、通常時にもクラス間交流を行っています。

クラス	対象年齢	通園回数
肢体クラス	2歳～5歳	週1回～週3回
知的・発達クラス	2歳・3歳	週3回～週4回

- わかば園では、保護者の方に具体的な療育・育児方法を身につけていただくため、親子一緒に参加していただくこととしています（親子通園）。
- わかば園の見学についての相談は、まずはお気軽にお電話ください（0798-65-1937）。

## 保育の流れ

時間	活動
9:40	順次タクシー登園、診察、検温、出席ノート、身辺整理
10:00	集まり、名前呼び、歌、ふれあい遊び、各クラスに応じた保育 季節の遊び、製作、 身体を使った遊び、感触遊び
11:50	給食
12:35	ゆったり保育※
13:00	個々に応じた活動
13:50	おかえり
14:00	タクシー降園

※ 保育は1限50分、1日3限です。  
1限目（10:00～10:50）  
2限目（11:00～11:50）  
3限目（13:00～13:50）

※ 毎週木曜日 年長、年中クラスで音楽療法（どれみクラブ）を実施しています。

※ ゆったり保育 保護者が食事をする間は、分離保育をしています。

## 給食・送迎

- 公立保育所の献立に基づいて実施しており、子供の摂食機能に応じた食事形態（普通食、刻み食、ミキサー食）やアレルギー食、ケトン食、注入食などの特別食にも対応した給食と栄養指導を行います。
- 利用者1～2組を1グループとして、各家庭とこども未来センターをタクシーで送迎します。自力通園（徒歩・自動車など）も可能です。

## その他の保育

### 親子療育教室

通園療育を行っていない0～3歳児を対象に親子療育（集団保育）を実施しています。

ありんこ	0歳児 月2回・1歳児 月4回
わくわく	2・3歳児 週1回（1クール16回）
つぼみ	1歳児～ 月2回 など

### 個別保育

親子療育教室に入るまでの8ヶ月未満の子供について個別保育を提供しています。保護者の不安をやわらげ、集団保育につなげていきます。

### 体験保育

通園療育を始めるにあたり、該当クラスの様子や生活の流れを知ってもらい、無理なく慣れてもらうために、体験保育を行っています。

### 保育所等訪問支援事業

保育所や幼稚園等に通うお子さんを対象に、集団生活の場である保育所や幼稚園等をわかば園スタッフが訪問し、集団生活での困り感が軽減できるよう、お子さん及び保育所や幼稚園等の職員に対する支援を行います。

### わかば園卒退園児アウトリーチ

わかば園を卒園したお子さんに対して、わかば園のスタッフが保育所や幼稚園等を訪問し、地域での集団生活の状況や困り感を確認し、必要な支援方法の提案などを行っています。



# 学校園や関係機関との連携

- 子供の普段の生活と関係の深い学校園、保護者、関係機関とのつながりを大切にし、連携による支援を行います。
- こども未来センターのスタッフや、各分野の専門家による助言や支援も行います。



学習室 (あすなる みらい)

## 学校園との連携

- こども未来センターは、子供が普段の生活で最も長い時間を過ごす学校・幼稚園・保育所等と連携し、必要な支援を行います。

### 学校園からの相談対応

学校・幼稚園・保育所など、子供が普段多くの時間を過ごす施設からの相談に対して、より適切な支援の方法などについて共に考えます。また、必要に応じて教育委員会や行政各担当課などの関係機関と連携し、協働しながら具体的支援策について提案しています。

### アウトリーチ

センターの専門職員が学校園や保育所を訪問し、発達上の課題などにより集団生活への適応が難しい子供への配慮や、身体障害のある子供の生活改善のための方法など、個に応じた支援方法について提案しています。

## 地域との連携

### 西宮専門家チーム

子供一人一人の早期の実態把握や望ましい対応など、各学校園の特別支援教育体制の取り組みに対して、大学教授などの専門家で構成する西宮専門家チームを学校園に派遣し、専門的な立場からのアドバイスをを行います。

### 巡回相談員（特別支援学校専任コーディネーター）の派遣調整

地域の特別支援教育推進の中核的な役割を担う各種特別支援学校には、それぞれ専任のコーディネーターが配置されています。さまざまな障害への高い見識と教育的支援の力量をもつ専任コーディネーターと連携し、学校園の実情に応じて派遣の依頼をしています。

### セラピスト訪問及びセラピー（PT・OT・ST）見学

センター診療所を利用している子供たちが通う保育所、幼稚園、学校、施設へ、診療所のセラピスト（PT・OT・ST）が訪問し、子供の特性を踏まえた支援方法を提案しています。また、学校園所担当者に診療所での担当児童の療育を見学してもらい、セラピストと担当者間で情報共有を行います。

- さまざまな課題のある子供に対して、より広い協力や連携が必要な場合に、関係機関など連携をとりながら支援を行います。また、早期の気づき・発見を早期の支援につなげていけるよう、ネットワーク作りを行っています。

### 西宮市地域自立支援協議会（みやっこ会議）

こども部会の事務局として運営を担っています。毎月の定例会議のほか、毎年夏には「みやっこ会議兼特別支援教育ネットワーク会議」を開催しています。それ以外にも、あんしん相談窓口連絡会・運営委員会や、各種のイベント等にも参加しています。

### 障害者総合相談支援センターにしのみや

みやっこ会議や障害児相談支援・計画相談支援等の相談支援事業の他、当センターの利用者が成人にむかうにあたってのつなぎ先としても連携しています。

### 西宮市保健所（地域保健課）

乳幼児健康診査などを通して、支援の必要な子供に関する連携を図っています。また、乳幼児健康診査に参加している保護者に子供の発達について興味・関心をもってもらうため、センター職員が一部の健診会場に出向き、視線計測装置「かおテレビ」を行っています。

### 子育て総合センター

子育て一般の広い相談の中で必要に応じて当センターへつなぎます。また「ひょうごっ子悩み相談センター」で実施する教育相談を共に担当しています。

## 「あすなる みらい」

- 「あすなる みらい」は、西宮市立の小中学校において、長期間登校できない状況にある子供に対して、社会的自立にむけた支援を行います。
- 通級日は月曜日から木曜日で、学習活動や人との関わりを深める交流活動等を通して生きる力をはぐくむ諸活動を実施しています。
- あすなる みらいは、学校や家庭、関係機関とも十分に連携を図り、一人ひとりに応じた指導・支援を行います。
- ※ 利用については学校を通じて行います。まず、学校にご相談ください。

相談室 (あすなる みらい)





# 施設のあらまし

西宮市立こども未来センターは、昭和42年に肢体不自由児通園施設として開設された「西宮市わかば園」と、昭和27年に開設された教育研究所を起源とする「西宮市スクーリングサポートセンター」を移転・統合し、福祉・教育・医療が連携し、切れ目のない支援を行うことを目的として、平成27年9月に開設されました。



外観

## 建物概要

所在地	西宮市高畑町2番77号		
竣工年月日	平成27年7月31日		
開所年月日	平成27年9月 1日		
建設費	1,093,600千円（設計施工一括発注方式）		
構造	鉄骨造（地上5階建）		
敷地面積	2,327.25㎡		
容積対象床面積	4,112.58㎡	5階	157.19㎡
		4階	699.59㎡
		3階	1,125.73㎡
		2階	1,280.12㎡
		1階	849.95㎡
(参考)	旧わかば園	床面積	990㎡
	旧スクーリングサポートセンター	床面積	1,100㎡

## 沿革

- 1952** **【教育】昭和27年**  
「教育研究所」開設（教育委員会における教育相談業務開始）
- 1958** **【教育】昭和33年**  
「教育相談室」新設（教育相談の専門組織の設置）
- 1967** **【福祉・医療】昭和42年**  
肢体不自由児通園施設「わかば園」開所（西宮市による独自設置）
- 1969** **【福祉・医療】昭和44年**  
「わかば園」厚生省認可（児童福祉法に基づく施設に移行）
- 1984** **【福祉・医療】昭和59年**  
「わかば園診療所」オープン化（通園児以外の一般外来診療開始）
- 1985** **【教育】昭和60年**  
「総合教育センター」開設（「教育相談室」は総合教育センターに移設）  
「適応指導教室あすなろ学級」設置（教育相談室分室として建石町に設置）
- 2000** **【福祉・医療】平成12年**  
地域療育等支援事業「わかばエール」開始（相談支援・地域支援を開始）
- 2001** **【教育】平成13年**  
「あすなろ学級」を総合教育センター内に移転
- 2006** **【教育】平成18年**  
「西宮市スクーリングサポートセンター」開設（教育相談・適応指導の組織再編）
- 2015** **【福祉・教育・医療】平成27年**  
「西宮市立こども未来センター」開所（福祉・教育・医療による連携支援開始）

旧わかば園

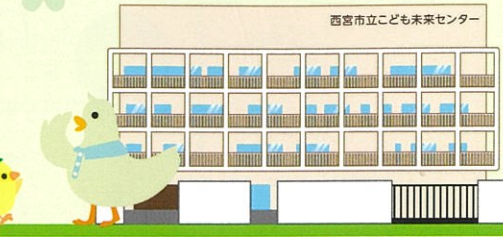


旧スクーリングサポートセンター（総合教育センター内）

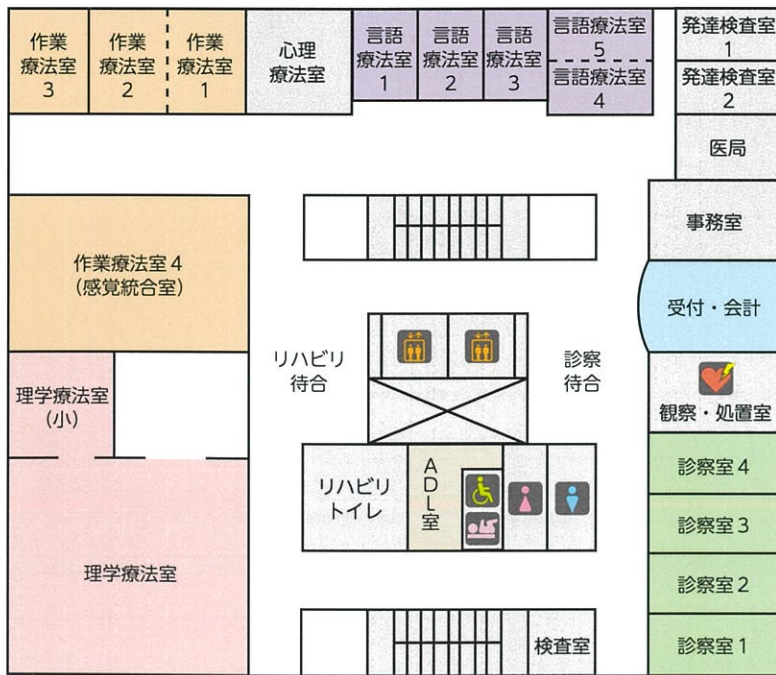
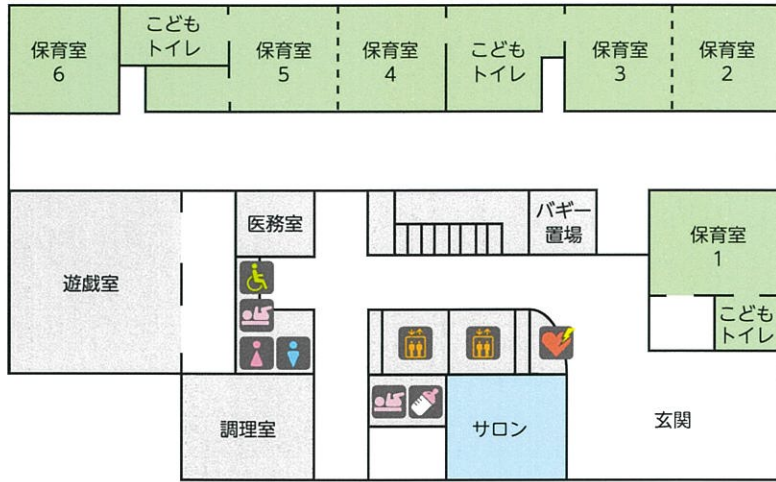




# 施設案内図



- 女性用トイレ
- 多目的トイレ
- AED設置場所
- オムツ交換台
- 男性用トイレ
- 授乳室
- エレベーター



## 1 階

**サロン**  
玄関を入った正面奥に、気軽にご利用いただけるサロンを設置しています。

**保育室**  
通園療育部門の「わかば園」の保育室は、安全面だけでなく、明るい雰囲気の中で安心して過ごせるように配慮しています。

## 2 階

**受付と待合スペース**  
診療部門の総合受付です。待合スペースは落ち着いた色調でまとめています。

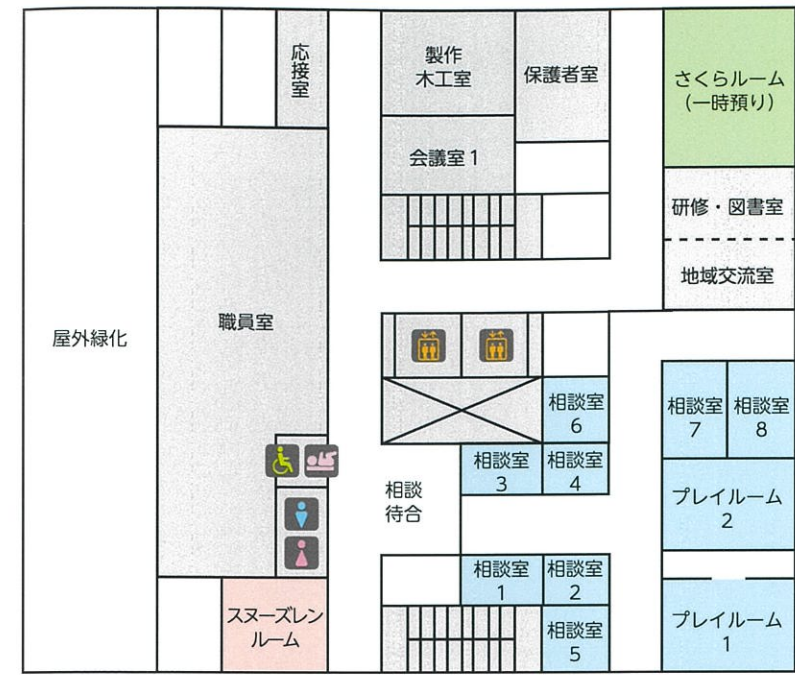
**診察室**  
通常の病院などと比較すると、色調など落ち着いた雰囲気になっています。ライフステージにわたって地域で安心して生活していけるよう支援します。

**理学療法室**  
粗大運動（座位、歩行など）の獲得や、姿勢の保持・変換などの支援を行います。広いスペースを使い、機器なども使用しながら、歩行や階段など移動の練習も行います。

**作業療法室**  
将来の自立や社会生活への適応につながる支援を行います。また、プランコのような器具を使い、さまざまな感覚情報を適切に処理し、状況に合った行動につながるよう支援します。

**言語療法室**  
こどもやコミュニケーション、食事に関する支援を行います。個別で支援を行う部屋と集団言語療法を行う部屋があります。

**ADL室**  
普段の生活での日常生活に必要な動作を練習するための家のような設備の部屋（キッチン、風呂）を設けています。

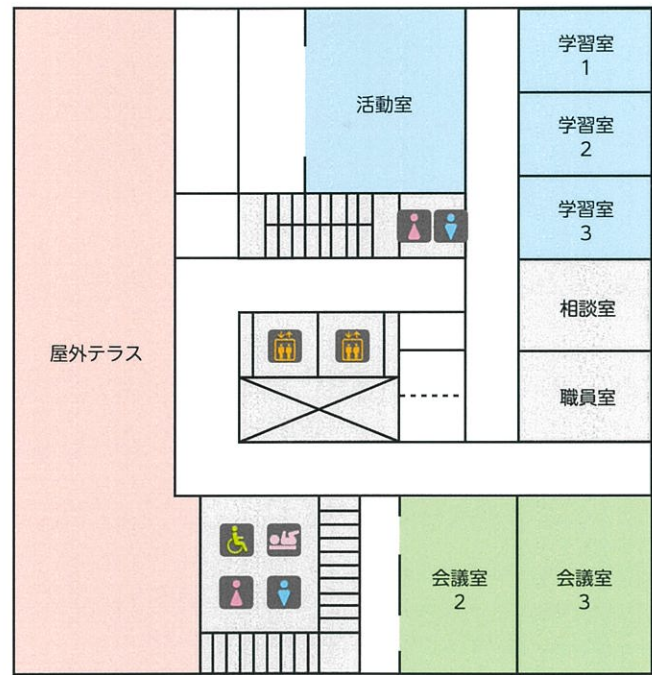


## 3 階

**相談室・プレイルーム（遊戯療法室）**  
安心して相談いただけるように、大小の相談室を8室、プレイルームを2室設置しています。プライバシーにも配慮しています。

**さくらルーム（一時預り）**  
リハビリ・相談等のあいだ、きょうだい（未就学児）をお預りするスペースです。（要予約・有料）

**スヌーズレンルーム**  
光や音、触覚等を伝える道具を組み合わせ、リラクゼーション活動を提供できる空間です。



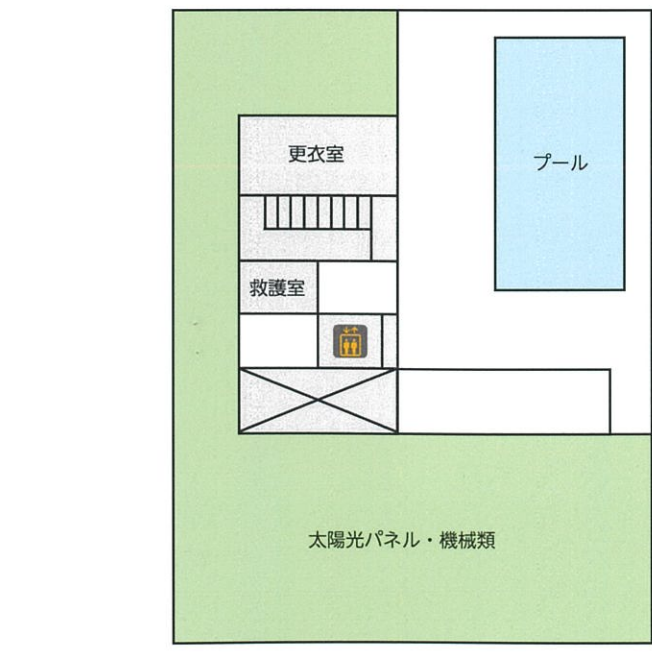
## 4 階

**学習室・活動室**  
社会的自立をめざすためのあすなろ みらいが用いる教室です。さまざまな指導形態に対応できるような各種教室を備えています。

**会議室2・3**  
こども未来センターの行事や会議、教職員・保護者・一般向けのセミナー・研修などを実施することができる部屋です。



**屋外テラス**  
屋上緑化を行い、リラックスできる空間です。



## 5 階

**プール**  
わかば園（通園療育部門）が夏に使用するプールです。屋上に設置されています。

**太陽光パネル**  
屋上には太陽光パネルを設置しています。





## アクセス



**所在地** 〒663-8202 西宮市高畑町2番77号

**交通機関** <阪急電車> 「西宮北口駅」から南東へ徒歩8分

<阪急バス> 「高畑町停留所」から南西へ徒歩5分  
「西宮営業所前停留所」から東へ徒歩3分

- 来館時は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 駐車場の台数には限りがありますので、身体の不自由な方、車椅子をご利用の方への優先利用にご協力をお願いします。

令和5年(2023年) 6月発行